

タンポポの会だより(第34号)

2014/2/18発行

タンポポの会事務局

あるがまま無理せず！

皆さん、ご健勝で新年を迎えられたことと存じます。本年も宜しく願い申し上げます。日本を大きくゆるがした東北大地震、福島原発事故から、早3年目を迎えました。アベノミクスでデフレ経済からの脱出を計って実質2年目に成り、その成否が問われる年となりました。私どもには医療費負担の増、消費税増等など、安心できる材料も見い出せないままで、ささやかに老後を楽しく生きようとする私達に、重くのしかかってきています。

日本の抱えている問題の本質は、人口の減少と高齢化に他ならず、この問題は日本が世界に先駆けて取り組む課題なのです。今まで戦後高度成長期の「成長・拡大」GNP国民総生産量の物質至上から人口減を前提にした「縮小・均衡」社会へ向かう精神的豊かさを目指し、新たな幸福の尺度を今こそ国民皆んで考える必要があるのではないのでしょうか。

(以前に紹介した「幸福の王国・ブータン」GNH国民総幸福量を国家の指針とした)

去年は落語「富山の笑いぐすり」越中家・漫欽丹(桶屋欽一郎)さんの講演会で、久しぶりに笑い転げました。同時に、第5回の「作品展」(出品者5名)も開催できましたが、残念ながら、恒例の日帰り旅行が参加者少なく、急拠中止と致しました事が悔やまれてなりません。

私達の「タンポポの会」の年中行事に努めて参加いただくことによって、世間で言われている「期待される生涯現役」として、高齢化社会の到来の中、官民上げての大合唱です。これに異論はないですが、夢や希望がなくては周りや本人が必要と受け止めていられることが前提と思います。

この会も1年後に成人式(20回総会)を迎えます。先輩方の継続する苦心を察すると共に会員が年々減少する中でも、あるがまま無理せず活動を継続してゆきたいものです。

参加する事により同病のひととの交わりが広がり、真の交友関係が出来るのではないのでしょうか。

どうか、3月23日の19回定時総会も間近です。皆さんの元気な顔を拝見、歓談出来ることを楽しみに、是非多くの参加を頂くようご案内申し上げます。

(タンポポの会会長 菅原 昭)

泌尿器科の近況・・・新西診療棟1Fにて診療しております。

医 局 診療部長 池田大助 部長 四柳智嗣 医長 島 崇

又、大学からの応援診療で外来検査・手術を担当しています。

スタッフ(外 来) 奥野看護師 以下2名と事務員1名で対応しています。

(ストマー外来) 開 皮膚排泄ケア認定看護師・・・木曜日午後泌尿器科(予約必要)

(入院1病棟6階) 角口看護部師長を始め25名の看護師が三交代でお世話しています。

総合的がん相談支援センター「がん相談支援室」・・・新西診療棟2F。

がん相談支援室は、厚生連・高岡病院の窓口として、タンポポの会の活動のお手伝いをさせていただきます。(専用FAX 0766-24-9517)・・・担当;前田看護部副師長

がん相談支援室は、がんに関する質問や相談にお応えしますので、ぜひお越しください。お電話でも構いません。どんな些細な事でも、気軽にご相談ください。(もちろん無料です)

タンポポの会・第19回総会のご案内

日 時 3月23日(土)午前10時00分～11時45分

会 場 厚生連・高岡病院 2F研修室(I)

議 題 ①25年度活動と収支決算報告・・・(監査報告あり)

②26年度活動計画と予算案

③その他



「ミニ講演」・・・(仮)高岡市の景観・歴史まちづくり。

高岡市 都市計画課

(高岡市まちづくり出前講座)

「日帰り旅行」中止のお詫び

予定は10月19日(土) 9時30分～16時10分頃 氷見・温泉民宿「すがた」と番屋街でした。

当初、参加者10人余りを予定していましたが、5人しか集まらず(病院側も行事が重なり不参加)協議の結果、急拠中止と決定致しました。長らく継続してきた大事な行事を中止、中断したことは大変残念でたまりません。来年度は是非とも実行できるよう、皆さんの参加協力を今からお願いし、会員皆さんと元気を確認しあう、楽しい日帰り旅行にしたいものです!

(タンポポの会事務局)

北陸新幹線の列車名決まる!!

最速;かがやき、各駅;はくたか、シャトル;つるぎ、・・・長野;あさま

JR西日本と東日本は10月10日に、2015年春に開業する北陸新幹線の列車名を4つに決めたと発表。「はやぶさ」は東京一金沢を最速2時間半で結ぶ速達タイプに使用。立山開山伝説の白いタカにちなむ「はくたか」は各駅停車タイプ、劔岳をイメージした「つるぎ」は富山一金沢間を往復するシャトルタイプに採用した。「かがやき」「つるぎ」は過去に北陸本線を走っていた列車名を復活した。また、東京一長野館を往復する長野新幹線タイプは現行の「あさま」を継続する。

「おくのほそ道の風景地」女岩(めいわ)の景観保全へ!

高岡・雨晴海岸の有磯海(ありそうみ)が国の名勝に指定されました。

文化審議会は11月15日、俳聖・松尾芭蕉が陸奥(みちのく)、北陸路を旅した「おくのほそ道の風景地」(10県13ヶ所)など名勝に指定するよう下村文科相に答申した。

高岡市の有磯海(女岩)など13ヶ所は「ストーリー性を持った一体の景観群」として選ばれ、往時をしのぶ優れた風景地として価値が高いと評価された。

県内では特別名勝の黒部峡谷、

名勝の称名滝に次いで3件目で、名勝指定は1973年の称名滝以来40年ぶりとなります。

「わせの香や 分入(わけいる)右は 有磯海」・・・おくのほそ道の越中のくんだり

※有磯海は越中国守、大伴家持が「荒磯」という言葉で万葉集歌に

詠んだのが初出で、後に歌枕(和歌に詠まれた名所・旧跡など)になった。

※「第54回 日本版画会展」上野・都立美術(平成25年11月 1日・北日本新聞・掲載記事から)

会員の射水市・松本 弘さんの版画作品が「入選」致しました。また、今回の展覧会は
会期;11/17～24 (現在;松本氏は準会員です)・・・おめでとうございます!

「赤い羽根共同募金会」の助成決定

(平成25年8月19日・決定通知あり)

25年4月に2度目の助成申請の「タンポポの会」

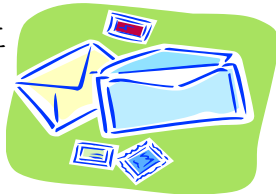
26年度事業のうち、7月の講演会が助成の
対象事業に決まりました。

今後、私達も今まで以上に

赤い羽根共同募金に

協力し共に助け合っ

ていきましょう。



編集後記

年3回(1月・5月・9月)発行をめざして

いますので、会員各位の投稿が増えて

「タンポポだより」が賑やかになるように、

皆さんの投稿協力をお願いします。次の

35号は5月末発行で5月5日締切です。

リクエストで新コーナーを設けますので

(仲間と集う・ちょっと一言・話題の窓・私の夢・・・)

泌尿器科の外来窓口へご一報ください。

(タンポポの会事務局)

※「タンポポの会」は次記の皆様からのご支援を受けています。



“自分の町を良くするしくみ”

「赤い羽根共同募金会」

毎年10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金が行われますので、私達も赤い羽根に協力しましょう!

(募集中)